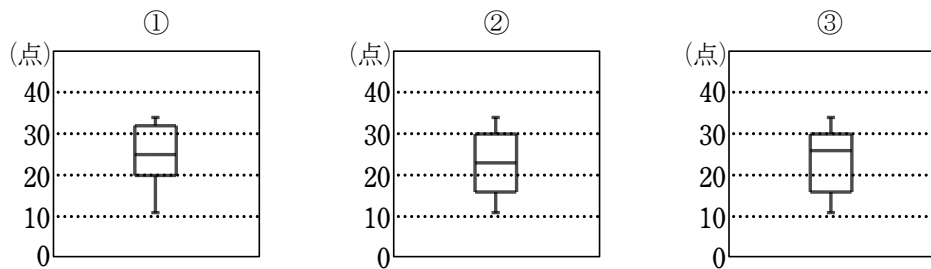


第2限 数学 (その1)

1 (1) 次のデータは、数学の小テストを実施したときの9人の得点である。

29, 17, 11, 26, 15, 31, 34, 23, 21 (点)

このデータを箱ひげ図に表したものを、下の①～③から選べ。



(2) $3x^2y - 15xy - 18y$ を因数分解せよ。

(3) 不等式 $\frac{3-\sqrt{41}}{2} < x < \frac{3+\sqrt{13}}{3}$ を満たす整数 x をすべて求めよ。

(4) $\left(1-\frac{1}{2^2}\right)\left(1-\frac{1}{3^2}\right)\left(1-\frac{1}{4^2}\right) \times \dots \times \left(1-\frac{1}{10^2}\right)$ の値を求めよ。

(5) 分数Aを約分すると $\frac{2}{3}$ になる。また、分数Aは分母に13を足して、分子から3を引いて約分すると $\frac{1}{4}$ になるという。分数Aを求めよ。

答え	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	

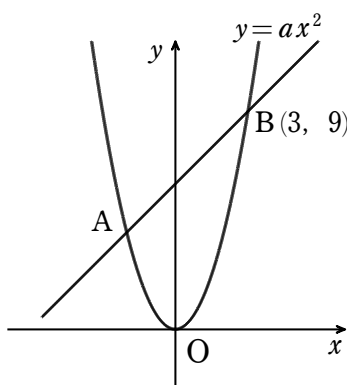
2 2つのサイコロを同時に投げ、出た目の数をそれぞれ a, b として、2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ を作る時、次の問いに答えよ。

- a と b が異なる2次方程式はいくつ作ることができるか求めよ。
- 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が $x = -3$ を解にもつ確率を求めよ。
- 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が整数の解をもつ確率を求めよ。

答え	(1)	
	(2)	
	(3)	

3 放物線 $y = ax^2$ と直線 $y = x + 6$ は、2点 A, B(3, 9) を通る。

- 点Aの座標を求めよ。
- $\triangle OAB$ の面積を求めよ。
- 三平方の定理を用いて、線分 AB の長さを求めよ。
- $\triangle OAB$ を直線 AB を軸として AB のまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ。



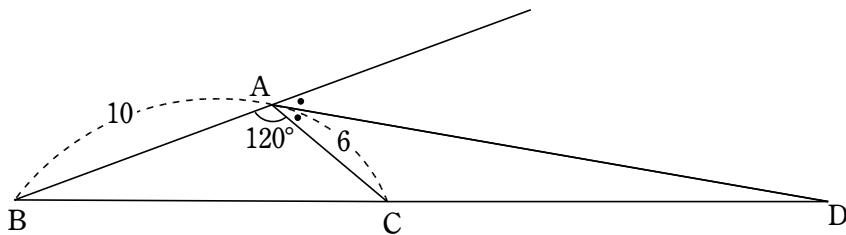
答え	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	

受験番号	
------	--

第2限 数学(その2)

4 $AB=10, AC=6, \angle BAC=120^\circ$ である $\triangle ABC$ において、辺 AB 上に $\triangle AEC$ と $\triangle EBC$ の面積比が $3:2$ となる点 E をとる。また、 $\angle BAC$ の外角の二等分線と辺 BC の延長との交点を D とする。このとき、次の問いに答えよ。

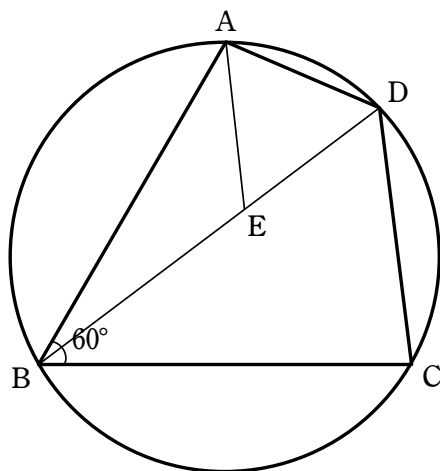
- (1) 辺 AE の長さを求めよ。
- (2) $\triangle AEC$ と $\triangle ACD$ の面積比を求めよ。



答	(1)	
	え	(2)

5 円に内接する四角形 $ABCD$ において、 $AB=BC=7\text{ cm}, CD=5\text{ cm}, AD=3\text{ cm}, \angle B=60^\circ$ 、対角線 BD 上に $AD=DE$ となるように点 E をとる。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 対角線 AC の長さを求めよ。
- (2) $\angle AEB$ の大きさを求めよ。
- (3) 対角線 BD の長さを求めよ。

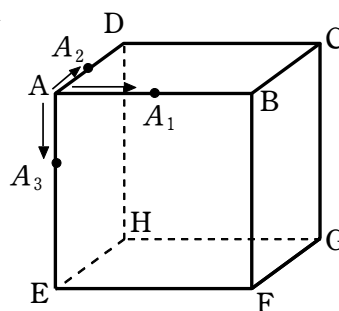


答	(1)	
	え	(2)
		(3)

6 右の図1に示した立体 $ABCD-EFGH$ は、1辺の長さが 6 cm の立方体である。頂点 A を含む3つの辺上で、頂点 A から $x\text{ cm}$ 離れた点をそれぞれ点 A_1, A_2, A_3 とし、 A_1, A_2, A_3 を通る平面を X_A とする。

- (1) $x=2$ のとき、平面 X_A で立体 $ABCD-EFGH$ を2つの立体に切り分け、頂点 A を含む立体を取り除いたとき、残った立体の体積を求めよ。

図1



答	(1)	
	え	(2)
		(3)

頂点 B, C, D, E, F, G, H についても同様に各頂点から $x\text{ cm}$ 離れた3点 $B_1, B_2, B_3, C_1, C_2, C_3, D_1, D_2, D_3, E_1, E_2, E_3, F_1, F_2, F_3, G_1, G_2, G_3, H_1, H_2, H_3$ を考え、これらの3点を通る平面をそれぞれ、 $X_B, X_C, X_D, X_E, X_F, X_G, X_H$ とする。

平面 $X_A, X_B, X_C, X_D, X_E, X_F, X_G, X_H$ で立体 $ABCD-EFGH$ を切り分け、各頂点 A, B, C, D, E, F, G, H を含む立体を取り除いたときの残った立体を Y とする。(図2)

- (2) $x=3$ のとき、立体 Y の表面積を求めよ。(図3)
- (3) $x=4$ のとき、立体 Y の体積を求めよ。

図2 $x=\frac{3}{2}$ のときの例

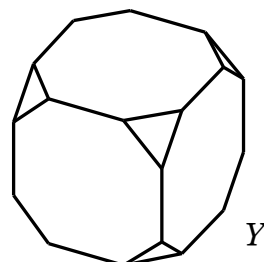


図3

